

# 中村洋子 バッハ 平均律クラヴィーア曲集・アナリーゼ講座



第 20 回 第 1 巻 第 20 番 イ短調 前奏曲 と フーガ  
 ～ Chopin ショパン所蔵『平均律』楽譜の書き込みから、何が分かるか ～

日 時： 2012年 2月17日(金) 午前 10 時 ～ 12 時 30 分  
 会 場： カワイ表参道 2F コンサートサロン・パウゼ  
 会 費： 3,000 円 ( 要予約 ) Tel.03-3409-1958

- ★87小節の長大な「Fuga」に比べ、舞曲を思わせる「20番 Praeludium」は、わずか28小節です。しかし、バランスがとれていない訳では決してありません。Bachの自筆譜を見ますと、Praeludium 20小節目までを、1ページ6段で記譜し、残り8小節は、2ページ目に3段で記譜しています。3段目は、27小節の7、8、9拍目と28小節目のみですが、そこで終わることなく、すぐにその横から「20番 フーガ Fuga」を書き始めています。
- ★何故、このような極めて異例な「レイアウト」にしたのでしょうか。19番から20番のPraeludiumとFugaまでを続けて詳細に見ますと、答えは自ずから出てきます。そして、さらにBachがどのように20番を演奏して欲しかったか、それも分かってきます。
- ★Chopin ショパン所蔵の『平均律』楽譜の20番には、「×」と「□」の記号がたくさん書き込んであります。
- ★「×」はテーマを意味することも多いのですが、「□」は何のために、記したのでしょうか。それについての私の考察を講座でじっくりお話いたします。それを理解しますとChopin ショパンがこの20番をどのように解釈し、理解し、演奏し、それを自分の作曲にどう役立てていたか、実によく分かります。
- ★平均律20番を学ぶことで、Chopin ショパンの音楽もまた、理解できるのです。

## ■ 講師：作曲家 中村 洋子

東京芸術大学作曲科卒。作曲を故池内友次郎氏などに師事。日本作曲家協議会・会員。ピアノ、チェロ、室内楽など作品多数。  
 2003年～05年：アリオン音楽財団《東京の夏音楽祭》で新作を発表。  
 07年：自作品「無伴奏チェロ組曲第1番」などをチェロの巨匠W.ベッチャー氏が演奏したCD『W.ベッチャー日本を弾く』を発表。  
 08年：CD「龍笛&ピアノのためのデュオ」、CD「ソプラノとギター」の「星の林に月の船」を発表。  
 08～09年：「バッハのインヴェンション・アナリーゼ講座」全15回を開催。  
 09年10月：「無伴奏チェロ組曲第2番」が、W.ベッチャー氏によりドイツ・マンハイムで初演される。  
 10年：「無伴奏チェロ組曲第1番」が、ベルリンのリース&エルラー社 RIES & Erler Berlin から出版される。  
 CD『無伴奏チェロ組曲第3番、2番』 W.ベッチャー演奏を発表。  
 「レーゲンボーゲン・チェロトリオス（虹のチェロ三重奏曲集）」が、ドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack 社から出版される。スイス、ドイツ、トルコの音楽祭で、自作品が演奏される。  
 11年4月：「10 Duette für 2 Violoncelli チェロ二重奏のための10の曲集」が、ドイツの「RIES & Erler Berlin、リース&エアラー社」から出版される。

●上記の楽譜とCDは、「カワイ・表参道」 <http://shop.kawai.co.jp/omotesando/>  
 「アカデミア・ミュージック」 <https://www.academia-music.com/> で、販売中

## ■ 今後のスケジュール

\*ブログ：「音楽の大福帳」 <http://blog.goo.ne.jp/nybach-yoko>

## 第 21 回 3/21(水) [バッハの誕生日] 第 21 番 変ロ長調 前奏曲とフーガ

≪カスパール・フィッシャーが源泉の「平均律曲集」に、バッハが加えたものは何か≫ 10:00-12:30 会費 3000 円

≪ 参加ご予約・お問合せは

もっと伝えたい、感動を。

# カワイ表参道

株式会社 河合楽器製作所

♪ 音楽教室部門 ♪

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-1

Tel.03-3409-1958

<http://shop.kawai.co.jp/omotesando/>

✉ [omotesando@music.kawai.co.jp](mailto:omotesando@music.kawai.co.jp)

